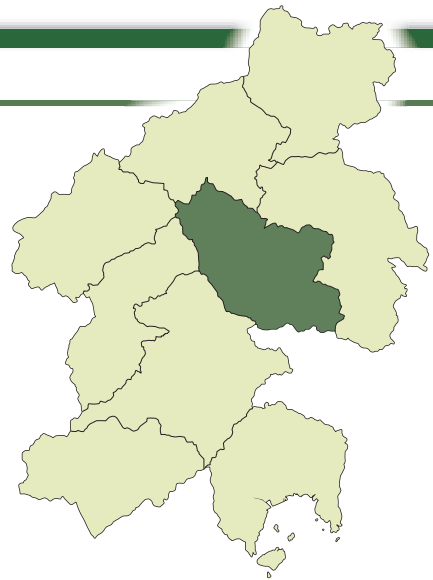


4 高屋地域



1 地域の概要

高屋地域は、東広島市の中央よりもやや東寄りに位置し、古代には高屋郷と呼ばれ、白鳥古墳をはじめとする数多くの遺跡が存在するなど、政治・文化の拠点として栄え、中世には平賀氏の本拠地が置かれ、白市が白山城しろやまじょうの城下町として開かれました。現在でも、広島中央テクノポリス建設によって、製造業の立地や住宅団地の造成、大学等の学術機能の集積が進んだ利便性の高い地域です。また、山陽自動車道高屋ジャンクション・インターチェンジ（以下：高屋JCT・IC）があり、広島空港や広島市へのアクセス性も高いほか、高規格幹線道路東広島・呉自動車道の整備により呉方面への交通利便性も高まり、さらに、東広島高田道路の整備によって、東西南北の広域交通の要衝となる地域です。

土地利用は、西高屋駅を中心に拠点地域が形成されており、計画的に整備された東広島ニュータウンなどの住宅団地のほか、教育機能が集積しています。白市駅は、広島空港への連絡バスが運行しているほか、周辺には歴史的なまちなみがあります。また、周囲には概ね地域を取り囲む山林及び緩やかな傾斜地があり、比較的平坦でまとまった農地では、豊かな田園が広がり、酒米など特徴的な農産物が生産されています。

2 まちづくりにおける現状と課題

市制施行直後の昭和50（1975）年に13,948人であった人口は、増加を続けてきましたが、平成17（2005）年の約30,900人をピークとして横ばい傾向が続き、現在は約30,500人となっています。また、産業団地や住宅団地、山陽自動車道高屋JCT・IC、東広島・呉自動車道などを中心とした様々な事業の推進により、都市的基盤が整いつつあり、近畿大学工学部及び附属広島中学校・高等学校、県立広島中学校・高等学校などの教育機関も集積しており、市内の文教地区の一つとして市内外から若年世代が多く集まる地域となっています。

一方、本市の文教地区としての拠点であるものの、市内外から集まる若年世代が活力を発揮する場の不足、西高屋駅周辺等における農地と市街地の混在、少子高齢化に伴う集落地域の過疎化、郊外住宅団地の高齢化、雇用の場となる企業及び新たな産業用地の不足、地域拠点^{※1}と周辺地区を接続する交通サービスの充実などが課題となっています。

今後は、本市有数の文教地区である拠点地域において、学習環境や交通機能の充実、魅力ある居住環境の整備等により利便性の高い拠点の形成を進めるとともに、若者世代にとって魅力的な雇用を創出する施策を組み立てていくことが必要です。

また、田園地域における担い手不足への対応や歴史ある文化的景観の保全による地域の魅力向上など、地域の活力を継続する取り組みが必要です。

※1 地域拠点：各生活圏の居住者の生活を支える、地域の核となる拠点。

3 まちづくりビジョン

(1) 将来像

地域の現状と課題を踏まえ、まちづくりにおける将来像を次のとおりとします。

**広域交通や様々な教育機関が整う
豊かな田園と良好な居住環境を備えたまち**

(2) 主要な施策の方向性

基本計画に掲げる施策とともに、本地域で推進していく主な施策は次のとおりです。

仕事 づくり

項目	施策の方向性
産業イノベーション※2の創出	<ul style="list-style-type: none"> 大学との連携促進とともに、企業におけるAI※3/IoT※4の導入支援等により、産業イノベーションの創出を図ります。
農山漁村の魅力づくりと農林水産業の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 酒米の振興や特別栽培米等の販売強化による収益性の高い米づくりを推進します。 法人間の連携促進等により、集落法人の経営高度化を支援し、優良農地の保全を図ります。
地域資源を活かした観光の振興	<ul style="list-style-type: none"> 民間事業者の参入も含め、農泊などの体験型観光や、白市地区における歴史的景観やまち並み等、地域資源を活かした観光・交流事業を推進します。

暮らし づくり

項目	施策の方向性
暮らしを支える拠点地区の充実	<ul style="list-style-type: none"> 西高屋駅周辺において、医療、福祉、子育て、商業、文化、交流等の生活利便施設の集積により拠点機能の充実を図るとともに、文教地区にふさわしい、良好な住環境を形成します。 移住定住の促進に向けた、土地利用規制のあり方について検討するとともに、既存住宅団地の活性化や下水道等の基盤整備などにより、居住環境の向上を図ります。 拠点地区における公共施設の再編を促進し、各種サービス機能の充実を図るとともに、青少年の活躍促進につながる機能の導入を図ります。
安全で円滑な生活交通の充実	<ul style="list-style-type: none"> 身近な交通道路網となる都市計画道路等の整備を推進します。 歩道や自転車道を含め、道路のバリアフリー化を推進し、安全・安心な移動空間を形成します。
多文化共生と国際化の推進	<ul style="list-style-type: none"> 技能実習生等の外国人市民の生活環境の充実を図るとともに、多様な言語・文化等の違いを超えて活動を支援します。

※2 イノベーション：経済発展の最も主導的な要因。「新結合」「新機軸」。新たな価値を創造し社会に大きな変化をもたらす幅広い意味での革新。

※3 AI：Artificial Intelligenceの略。人工的につくられた人間のような知能、ないしはそれをつくる技術。

※4 IoT：Internet of Thingsの略。モノのインターネット化。様々な「モノ（物）」がインターネットに接続され、情報を交換することにより相互に制御することが可能となる仕組み。

人づくり

項目	施策の方向性
乳幼児期における教育・保育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域特性に応じた幼児教育等の子育て支援環境の充実を図ります。
高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践	<ul style="list-style-type: none"> ● 教育の質を高め「生きる力」を育むため、特色ある教育活動の推進、教育環境づくりを進めます。
市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 生涯学び、活躍できる環境として、学習活動の充実、芸術文化活動の活性化を進めます。 ● 大学や試験研究機関等との連携の充実を図ります。 ● 平賀氏の遺跡や白市歌舞伎など郷土の歴史の保存と活用を推進します。

活力づくり

項目	施策の方向性
多様性豊かな市民の力が輝くまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 青少年・学生の力を活かし、交流・連携事業を推進します。 ● 創業・起業と連動した移住・定住の促進とともに、交流人口の拡大を図ります。 ● 県立広島高等学校・近畿大学附属広島高等学校と地域との連携による、地域の活性化の支援を図ります。
都市成長基盤の強化・充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 山陽自動車道との近接性を活かし、IC周辺等での産業用地の確保を進めます。 ● 歴史的なまち並みなど、景観に配慮したまちづくりを推進します。
交通ネットワークの強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 東広島高田道路等の整備を促進するなど、交通ネットワークの充実を図ります。 ● JR、バス等の利用を促進し、サービスの維持、活性化を図ります。 ● 西高屋駅の南北駅前広場、自由通路の整備により、ターミナル機能の強化及び駅周辺の交通機能の向上を図ります。 ● 広島空港へのアクセス機能の確保を図ります。

安心づくり

項目	施策の方向性
災害に強い地域づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 被災箇所の早期復旧を進めるとともに、入野川などの河川改修の促進や、ソフト対策等の防災・減災対策を推進します。 ● 都市型災害（浸水対策等）への対策を推進します。
健康寿命の延伸による生涯現役社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> ● 健康維持や介護予防のための通いの場や地域サロンの充実を図ります。
誰もが生き生きと暮らせる地域共生社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域において、気軽な交流の場、障害の有無や年齢等にかかわらず、全ての市民が集える場づくりを進めます。
安心して子どもを産み育てられる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 子育て支援機能の充実、子育てサポーターの育成を進めます。

(3) 構想図

